



スマイル天神 No.41



令和4年2月7日
天神小学校
校長 木下 和弥

思いやりのある子・進んで学ぶ子・明るくたくましい子

サッカー遊び～音声言語によるコミュニケーション～

最近の昼休みは、子どもたちの希望で、サッカーをすることが増えてきました。先日は5年1組の子どもたちとサッカーをしました。(コロナ禍で学級別に遊んでいるため)

サッカーを習っている子どもたちもいれば、そうではない子どもたちもありますが、皆楽しそうに取り組んでいることが何より嬉しく思いました。一緒にサッカーをしている中でふと気付いたことがありました。それは「スポーツや遊びはコミュニケーションが大切だ」ということです。

ボールを持った友達に、名前を呼んでボールを自分に出してほしいという意志を伝えること。ボールを持った自分から、味方のチームメイトにどこに動いてパスをもらいに来てほしいという自分の意思を伝えること。敵が見えないところから近付いているから気をつけた方がいいぞという味方チームメイトへのアドバイス。これらの言葉(音声言語)によってコミュニケーションを充実させていたことで、よりよいサッカーができるようになっていました。

学級・学年の枠を越えて鬼ごっこをしていた時には、一人の鬼が一人を追いかけるだけだと、どうしても自分より足が速い友達を捕まえることは難しくなります。しかし、二人・三人や複数人数で、自分より足の速い友達を捕まえるために、自分は右から捕まえるから、友達には左から捕まえてほしいなどを、言葉で伝えることで足の速い友達を捕まえることになり、遊びを通してコミュニケーション力が向上することにつながったのです。

個人対個人のスポーツはその割合は少ないかもしれませんが、遊びやスポーツを通して、自分の思いを伝えること、相手の思いを受け取ることが大切であり、このようなコミュニケーションが生活の中でも学習の中でもとても大切であると感じました。

けんかをした子ども同士の仲裁に入ることがあったのですが、その時に、自分の思いをしっかりと伝えることと、相手の思いをしっかりと受け取ることがもっとできていたら、防ぐことができたのではないかなと思うことが多かったです。このお互いの思いを理解し合うことをしなかったために、暴力に訴えるとか、誤解をしたことからお互いの思いが大きくなりすぎていくとかして、けんかが大きくなっていくように思いました。

遊び・スポーツ・学習・生活におけるけんか…。一見ばらばらのことですが、根底には「言葉という音声言語によるコミュニケーション」があり、とても大切なように思いました。ちなみに、テレビゲームのような遊びからは音声言語によるコミュニケーションは育たないのではないかと思います。鬼ごっこのような昔からの遊びや、スポーツから得られるものは、大きいのではないかなと感じました。



天神小一徳運動 「気持ちのいいあいさつ」 ～あじさいあいさつを～

～あいての目を見て ①ぶんから ②わやかな声で ③いつでも・どこでも・誰にでも